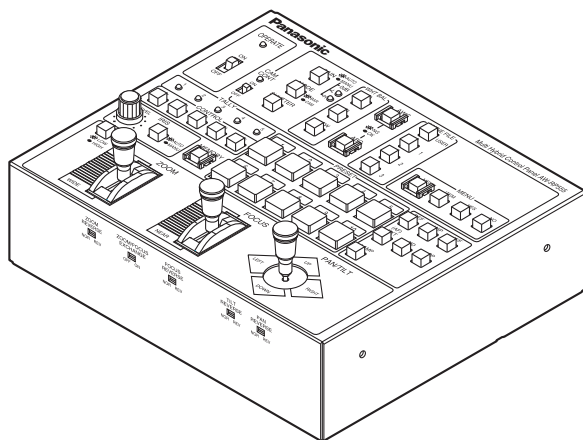


# Panasonic<sup>®</sup>

## 取扱説明書

マルチハイブリッドコントロールパネル

品番 **AW-RP555N**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～10ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

**保証書別添付**

# 目次

---

概要 .....	3
付属品 .....	3
安全上のご注意 .....	4
各部の名称と働き .....	11
コントロールパネル部 .....	11
前面スイッチ部 .....	20
背面コネクタ部 .....	22
接続 .....	25
操作手順 .....	29
電源の投入 .....	29
EXTERNAL CONTROL OUT設定 .....	30
PAN/TILT最低起動速度の調整 .....	31
バックラッシュ補正の調整 .....	32
レンズのズーム最低起動速度の調整 .....	33
回転台の可動範囲（リミッター）の設定 .....	34
ゲンロック調整 .....	36
トータルペDESTALの調整 .....	36
ホワイトバランスの調整 .....	37
ブラックバランスの調整 .....	39
プリセットメモリーの設定 .....	41
カメラメニュー項目の設定・変更 .....	43
ラックマウント金具の取り付け .....	44
消耗品の交換 .....	44
コネクタパネルの位置の変えかた .....	45
外形寸法図 .....	46
定格 .....	47
保証とアフターサービス .....	49

# 概 要

- 本機は、回転台システム（回転台とコンバーチブルカメラまたはマルチパーパスカメラAK-HC1500G）を制御するマルチハイブリッドコントロールパネルです。
- AK-HC1500Gでは制御できる項目に制限があります。詳しくはAK-HC1500Gの取扱説明書を参照してください。
- 接続には、10BASE-Tストレートケーブル（UTPカテゴリ 5）を使用してください。
- 本機には、回転台システムが5台まで接続できます。  
回転台としてAW-PH350、AW-PH360、AW-PH650を使用する場合、本機と回転台システムとの接続は、最大1000 mまで延長できます。  
他の回転台を使用する場合は、800 mまで延長できます。
- 回転台とコンバーチブルカメラのシステムからの映像信号のケーブル補償には、ケーブル補償器AW-RC400をご使用ください。

## 対応回転台

AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650

本機からのコントロール信号を直接接続することができます。

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600

本機からのコントロール信号を422/232C変換器でRS232C信号に変換し、回転台のRS232C端子に接続する必要があります。カメラコントロールもRS232Cで行います。

AW-PH500を使用したときは、カメラをコントロールすることはできません。

## 推奨電源

電源には、専用のACアダプター AW-PS505A（別売品）を使用してください。

## ご注意

- 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者へ廃棄を依頼してください。

# 付属品



ラックアングル（4U）.....	2
取り付けネジ（M4×8）.....	8
連結金具.....	1

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●設置について



## 警告

### 不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりして  
けがの原因となります。

### ケーブルに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならない  
よう注意してください。  
ケーブルが傷ついて、火  
災・感電を起こすおそれ  
があります。

### 水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因とな  
ります。

### ぬれた手で、ケーブルの抜き差しはしない！



禁止

感電の原因となります。

### 付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製  
品を使用すると、火災や  
事故を起こすおそれがあ  
ります。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●使用方法について



## 警告

水場で使用しない！



火災・感電の原因となります。

水場使用禁止

本機の上に水の入った容器、  
小さな金属物を置かない！



本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。

禁止

コードが破損するようなことはしない！

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

機器が濡れたり、水が入らないようにする！



火災・感電のおそれがあります。  
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

禁止

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！



火災・感電のおそれがあります。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●使用方法について



## 警告

### 本機を改造しない！



火災・感電の原因となります。

分解禁止

### 本機の裏ふた・キャビネット・カバーなどを外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

### 指定のカバー以外は、外さない！



感電の原因となります。

分解禁止

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●異常時の処理について



## 警告

**本機を落としたり、破損した場合は、ケーブルを抜く！**



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

ケーブルを  
抜く

**本機の内部に異物が入った場合は、ケーブルを抜く！**



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

ケーブルを  
抜く

**本機の内部に水などが入った場合は、ケーブルを抜く！**



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

ケーブルを  
抜く

**煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、ケーブルを抜く！**



火災・感電の原因となります。

ケーブルを  
抜く

**ケーブルが傷んだ場合は、交換を依頼する！**



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。



# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●設置について



## 注意

**ケーブルを熱器具に近づけない！**



禁止

ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

**油煙や湯気が当たる場所に置かない！**



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

**湿気やほこりの多い場所に置かない！**



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

**ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！**



禁止

感電の原因となることがあります。

**プラグを抜くときは、コードを引っ張らない！**



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 必ずプラグを持って抜いてください。

**本機を通気の悪い所で使用しない！**



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。  
次のような使い方は、しないでください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ●使用方法について



### 注意

**本機の上に重い物を置かない！**



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

**本機に乗らない！**



禁止

倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。

**移動させる場合は、外部の接続ケーブルを外す！**



禁止

ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

## ●お手入れについて



### 注意

**お手入れの際は安全のため、ケーブルをはずす！**



火災・感電の原因となることがあります。

台所用洗剤を布にしみこませて軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。

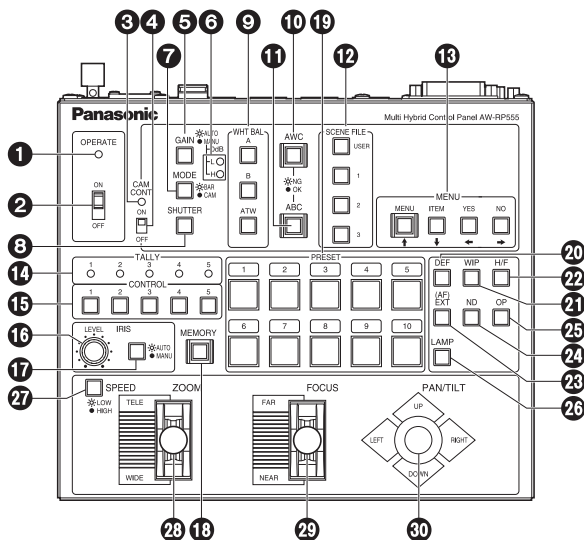
**1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！**



本機の内部にほこりがたまったまま、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

# 各部の名称と働き

## ■コントロールパネル部



### ① OPERATEランプ

本機に電源が供給されて、OPERATEスイッチがONの状態のときに点灯します。

### ② OPERATEスイッチ

本機に接続されている全ての回転台システム（回転台とコンバーチブルカメラ）の電源を制御します。

ON/OFFの操作は5秒以上の間隔をあけて行ってください。OPERATEスイッチをOFFにしても本機の電源はOFFになりません。本機を完全にOFFにする場合は、ACアダプターの電源をOFFにしてください。

### ③ CAM CONTランプ

CAM CONTスイッチがONになっていて、現在選択されている回転台システムのカメラと通信が正常に行われているときに点灯します。通信に異常があると消灯します。

AW-PH350/AW-PH360/AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、通信が正常に行われているときも消灯したままです。

# 各部の名称と働き

## ④ CAM CONTスイッチ

本機のカメラコントロール機能をON/OFFします。

**ON**： カメラコントロールが有効になります。

**OFF**： カメラコントロールが無効になります。

CAM CONTスイッチで有効／無効の切り換えができるのは、以下の通りです。

GAIN、MODE、SHUTTER、WHT BAL [A、B、ATW]、AWC、ABC、SCENE FILE [USER、1、2、3]、MENU/↑、ITEM/↓、YES/←、NO/→

## ⑤ GAIN [AUTO/MANU] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのゲインコントロールモードを選択します。ボタンを押すごとに、オートモード、マニュアルモード [0dB、L(9dB)、H(18dB)] の順に切り換わります。

カメラメニューでマニュアルモードのゲイン設定を0dB、9dB、18dB以外に設定していた場合は、本操作による設定値に変更されます。

オートモードのときはボタンが点灯し、マニュアルモードのときには消灯します。

## ⑥ MANU [L、H] ランプ

GAINボタンでMANUゲインを選択したとき

0dB	Lランプ消灯	Hランプ消灯
9dB	Lランプ点灯	Hランプ消灯
18dB	Lランプ消灯	Hランプ点灯

のように表示します。

上記以外をカメラメニューで設定した場合、Lランプと、Hランプの両方が点灯します。

## ⑦ MODE [BAR/CAM] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラの映像出力信号を選択します。

ボタンを押すごとに、カメラのカラーバー信号と映像信号が切り換わります。

カラーバー信号のときはボタンが点灯し、映像信号のときには消灯します。

# 各部の名称と働き

## ⑧ SHUTTERボタン

現在選択されている回転台システムのカメラのシャッタースピードを選択します。ボタンを押すごとに、設定されたシャッタースピードとシャッター OFFが切り換わります。

シャッタースピードはボタンを離したときに切り換わります。

OFF以外のときにボタンが点灯し、OFFのときは消灯します。

### 【シャッタースピードの登録のしかた】

1. MEMORYボタンを押しながらSHUTTERボタンを押します。
2. PRESET [1 ~ 5] ボタンとPRESET [6 ~ 10] ボタンが交互に点滅します。
3. 登録したいシャッタースピードに対応するPRESETボタンを押します。

設定できるシャッタースピードは以下の通りです。

1/100	PRESET 1	1/4000	PRESET 6
1/250	PRESET 2	1/10000	PRESET 7
1/500	PRESET 3	SYNCHRO-SCAN	PRESET 8
1/1000	PRESET 4	ELC	PRESET 9
1/2000	PRESET 5	OFF	PRESET 10

※OFFに設定するとSHUTTERボタンを押してもシャッター動作しません。

SYNCHRO-SCANの設定値はカメラメニューから設定してください。

シャッタースピードの変更は次回シャッター ON設定時に反映されます。

この設定は本機の電源が切れても記憶されます。

### 【シャッタースピードを登録せず、一時的にシャッタースピードを変更する場合】

SHUTTERボタンを押しながら設定したいシャッタースピードに対応するPRESETボタンを押します。

設定できるシャッタースピードは上記の表の通りです。

シャッタースピードはPRESETボタンを押したときに変更されます。

この設定は、シャッターボタンを押したり、カメラの電源が切れると消えてしまいます。

# 各部の名称と働き

---

## ⑨ WHITE BAL [A/B/ATW] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのホワイトバランスの調整を選択します。

**A :** Aボタンを押すと、カメラのメモリー Aに登録されているホワイトバランスの状態になり、Aボタンが点灯します。

Aボタンを押した後にAWCボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Aに登録します。

**B :** Bボタンを押すと、カメラのメモリー Bに登録されているホワイトバランスの状態になり、Bボタンが点灯します。

Bボタンを押した後にAWCボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Bに登録します。

**ATW :** ATWボタンを押すと、ホワイトバランスは自動調整モードになり、ATWボタンが点灯します。

## ⑩ AWCボタン

WHITE BAL [A] ボタンや [B] ボタンが選択されているときにこのボタンを押し、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Aやメモリー Bに登録します。

ホワイトバランスの調整中はAWCボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

- MODEボタンがBAR (MODEボタンが点灯) のときやATWが選択されているときは、動作しません。
- ホワイトバランスを調整するときは、撮影している画面に白い対象物が無いと調整できないときがあります。
- AW-PH350/AW-PH360/AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

# 各部の名称と働き

---

## ⑪ ABCボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのブラックバランスを自動調整します。IRIS [AUTO/MANU] ボタンをAUTO (IRISボタンが点灯) にしてABCボタンを押します。

ブラックバランスの調整中はABCボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

- MODEボタンがBAR (MODEボタンが点灯) のときは、動作しません。
- AW-PH350/AW-PH360/AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

## ⑫ SCENE FILE [USER/1/2/3] ボタン

現在選択されている回転台システムのカメラのSCENE FILEを選択します。

選択されたSCENE FILEのボタンが点灯します。

【AW-E350/AW-E650/AW-E655/AW-E750/AW-E860の場合】

[USER] が点灯しているときはユーザーモード

[1] が点灯しているときはハロゲンモード

[2] が点灯しているときは蛍光灯モード

[3] が点灯しているときは屋外モード

が選択されます。

## ⑬ MENU/↑、ITEM/↓、YES/←、NO/→ ボタン

現在選択されている回転台システムのカメラのオンスクリーンメニューを表示させて、設定を行います。

MENU/↑ボタンを2秒以上押すとメニューモードになり、カメラ映像出力にオンスクリーンメニューが表示されて、MENU/↑ボタンが点灯します。

メニューモードのときにMENU/↑ボタンを2秒以上押すとメニューモードが終了し、カメラ映像出力のオンスクリーンメニューが消えて、MENU/↑ボタンが消灯します。詳しくはカメラメニュー項目の設定・変更 (P.43) をご参照ください。

## ⑭ TALLYランプ [1] ~ [5]

TALLY端子 [1] ~ [5] にタリー信号が入力されたときに、端子に対応した番号のランプが点灯します。

# 各部の名称と働き

## 15 CONTROLボタン [1] ～ [5]

1から5のボタンを押すと、接続されている回転台システムを選択します。

AW-RC400と接続されている場合は、選択された番号のボタンが点灯し、選択された回転台システムからの映像信号がAW-RC400のMONITOR OUT 1～2端子に出力されます。

## 16 IRIS LEVELつまみ

現在選択されている回転台システムのレンズの絞りを調整します。

IRISボタンがMANUに設定されているときは、このつまみでレンズの絞りをオープンからクローズまで動かすことができます。時計方向でレンズの絞りは開く方向に、反時計方向でレンズの絞りは閉じる方向に動きます。

IRISボタンがAUTOに設定されているときは、このつまみでカメラメニューの「映像レベル」設定を調整し、自動絞り動作の収束レベルを調整することができます。時計方向でレンズの絞りは開く方向に、反時計方向でレンズの絞りは閉じる方向に設定します。

- IRIS LEVELつまみを動かしたときだけレンズ絞りの設定をするようになっています。
- 本機ではカメラメニューのオートアイリスアジャスト機能は無効になります。

## 17 IRIS [AUTO/MANU] ボタン

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスの調整方法を選択します。

ボタンを押すごとに、AUTO/MANUが切り換わります。

**AUTO** : 自動調整を行い、IRISボタンが点灯します。

**MANU** : IRIS LEVELつまみでマニュアル調整します。

このときIRISボタンは消灯します。

### ご注意

カメラの電源を本機より後に投入した場合や、停電やトラブルでカメラの電源が落ちた場合、IRISボタンの設定にかかわらずカメラは[AUTO]の状態で作動しますので、再度IRISボタンで調整方法を選択してください。

## 18 MEMORYボタン

現在選択されている回転台システムとの通信ができているときは消灯し、通信に失敗したときは点滅します。点滅したときは、他の回転台システムを一度選択してから再度選択し直してください。それでも点滅する場合は、回転台の電源やケーブルの接続をご確認ください。

また、回転台のプリセットメモリーや、リミッター、シャッタースピードなどの登録をするときMEMORYボタンを押します。詳しくは各機能の説明をご確認ください。



# 各部の名称と働き

---

## 19 PRESETボタン [1] ~ [10]

プリセットメモリーをボタンに登録します。

プリセットメモリー : [1] ~ [10]

## 20 DEFボタン

現在選択されている回転台システムにデフロスタ機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、デフロスタ機能のON/OFFを選択します。

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

デフロスタがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

## 21 WIPボタン

現在選択されている回転台システムにワイパー機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、ワイパー機能のON/OFFを選択します。

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

ワイパーがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

## 22 H/Fボタン

現在選択されている回転台システムにヒーター／ファン機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、ヒーター／ファン機能のON/OFFを選択します。

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

ヒーター／ファンがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

## 23 EXT (AF) ボタン

選択されている回転台システムにエクステンダー機能があるレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能のON/OFFが切り換わります。

選択されている回転台システムにAF機能付きレンズ (AW-LZ16AF7G) を使用している場合、ボタンを押すごとにレンズのAF機能がON/OFFと切り換わります。どちらの場合もONの時はボタンが点灯し、OFFの時は消灯します。

※AF機能は、回転台AW-PH350/AW-PH360/AW-PH650を接続した場合のみ、このボタンでON/OFFできます。回転台を使用せずカメラのみを接続の場合はメニュー上でON/OFFしてください。

## 24 NDボタン

現在選択されている回転台システムにNDフィルター機能があるレンズを使用している場合、NDフィルター機能のON/OFFを選択します。

ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。

NDフィルターがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

# 各部の名称と働き

---

## 25 OPボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、ACアダプター (AW-PS300A) のOPTION SW CONTROL OUT端子の短絡／開放を制御します。ボタンを押すごとに、短絡と開放が切り換わります。短絡したときはボタンが点灯し、開放したときにはボタンが消灯します。

## 26 LAMPボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、ハロゲンランプの点灯と消灯を制御します。ボタンを押すごとに、点灯と消灯が切り換わります。ハロゲンランプが点灯しているときはボタンが点灯し、消灯しているときにはボタンが消灯します。ハロゲンランプが接続されていないときや断線などのトラブルがあるときには、ボタンが点滅します。

## 27 SPEEDボタン

現在選択されている回転台システムの、制御（パン、チルト、ズーム、フォーカス）速度を選択します。ボタンを押すごとに、高速モードと低速モードが切り換わります。低速モードのときはボタンが点灯し、高速モードのときには消灯します。

MEMORYボタンを押しながらSPEEDボタンを押すと、電源投入時（またはOPERATE ON時）に高速モード／低速モードのどちらを選択するか切り換えることができます。

## 28 ZOOMレバー

現在選択されている回転台システムの、レンズのズームを調整します。倒す方向によりTELE（望遠）とWIDE（広角）を決め、倒す角度によりズームスピードを調整します。

## 29 FOCUSレバー

現在選択されている回転台システムの、レンズのフォーカスを調整します。倒す方向によりFAR「遠」側とNEAR「近」を決め、倒す角度によりフォーカススピードを調整します。

# 各部の名称と働き

---

## ⑩ PAN/TILTレバー

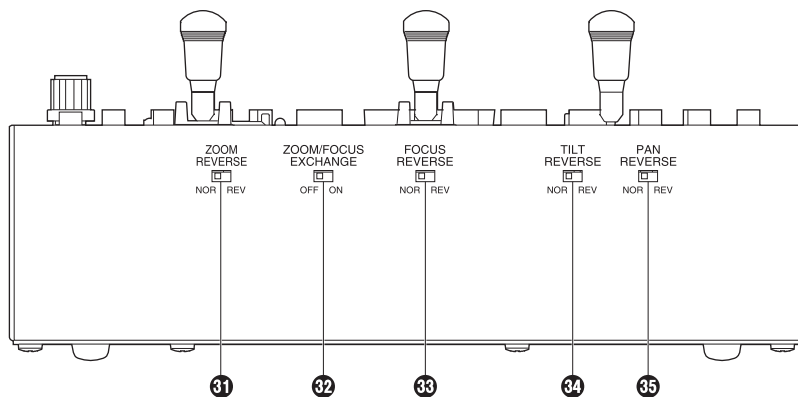
現在選択されている回転台システムの、回転台の向きを調整します。

L/R方向に倒すと回転台の向きが左右方向に変わり、UP/DOWN方向に倒すと上下方向に変わります。

レバーを倒す角度によりスピードを調整します。

# 各部の名称と働き

## ■前面スイッチ部



### 31 ZOOM REVERSE [NOR/REV] スイッチ [出荷設定 NOR]

ZOOMレバーの操作で行う、レンズのズーム動作を切り換えます。

NORに設定すると、ZOOMレバーをTELE側へ倒したときにズーム動作が望遠に動作し、WIDE側に倒したときに広角側に動作します。

REVに設定すると逆方向に動作します。

### 32 ZOOM/FOCUS EXCHANGE [ON/OFF] スイッチ [出荷設定 OFF]

ZOOMレバーとFOCUSレバーの機能を入れ替えます。OFFに設定するとZOOMレバーはレンズのズーム動作を、FOCUSレバーはレンズのフォーカス動作を調整します。

ONに設定するとZOOMレバーはレンズのフォーカス動作を、FOCUSレバーはレンズのズーム動作を調整します。

### 33 FOCUS REVERSE [NOR/REV] スイッチ [出荷設定 NOR]

FOCUSレバーの操作で行う、レンズのフォーカス動作を切り換えます。

NORに設定すると、FOCUSレバーをFAR側へ倒したときにフォーカス動作が遠距離側に動作し、NEAR側に倒したときに近距離側に動作します。

REVに設定すると逆方向に動作します。

# 各部の名称と働き

---

## ③4 TILT REVERSE [NOR/REV] スイッチ [出荷設定 NOR]

PAN/TILTレバーの操作で行う、回転台システムの垂直方向の動作を切り換えます。NORに設定すると、PAN/TILTレバーをUP側へ倒したときに回転台システムが上方方向に動作し、DOWN側に倒したときに下方方向に動作します。REVに設定すると逆方向に動作します。

回転台にAW-PH300を据え置き設置で使用する場合、通常はREVに設定してください。

REVに設定すると、PAN/TILTレバーをUP側へ倒したときに回転台システムが上方方向に動作し、DOWN側に倒したときに下方方向に動作します。

## ③5 PAN REVERSE [NOR/REV] スイッチ [出荷設定 NOR]

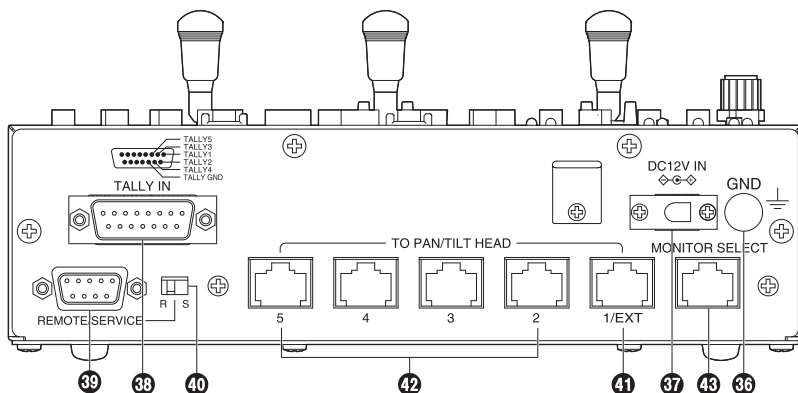
PAN/TILTレバーの操作で行う、回転台システムの水平方向の動作を切り換えます。NORに設定すると、PAN/TILTレバーをLEFT側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、RIGHT側に倒したときに右方向に動作します。REVに設定すると逆方向に動作します。

回転台にAW-PH300を据え置き設置で使用する場合、通常はREVに設定してください。

REVに設定すると、PAN/TILTレバーをLEFT側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、RIGHT側に倒したときに右方向に動作します。

# 各部の名称と働き

## ■背面コネクタ一部



### 36 GND端子

アース接地してご使用ください。

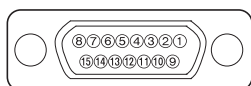
### 37 DC 12 V IN端子

ACアダプター AW-PS505A (別売品) を接続します。

### 38 TALLY IN端子

ビデオスイッチャーなどのTALLY端子と接続します。

TALLY端子はGNDレベルになると、TALLYランプ (14) が点灯します。この端子には、5 V以上の電圧を与えないでください。



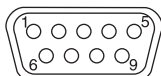
AW-RP555を背面から見たときのピン配置

ピン番号	信号名
1	TALLY1
9	TALLY2
2	TALLY3
10	TALLY4
3	TALLY5
11	TALLY GND
4	---
12	---
5	---
13	---
6	---
14	---
7	---
15	---
8	---

# 各部の名称と働き

## 39 REMOTE/SERVICE端子

パーソナルコンピューターなど外部機器で回転台システムを制御するときに、外部機器を接続します。



ピン番号	信号名
1	---
2	RXD IN
3	TXD OUT
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	---

## 40 REMOTE/SERVICEスイッチ（出荷設定：R）

REMOTE/SERVICE端子の機能選択スイッチです。

「R」の位置に固定でご使用ください。

## 41 TO PAN/TILT HEAD 1/EXT端子

・EXTERNAL CONTROL OUT設定（P.30参照）でEXT CONTROL OUTをOFFに設定した場合は、回転台の接続端子1として機能します。

回転台のIP/RP端子に10BASE-T（UTPカテゴリー 5相当）のストレートケーブルで接続してください。

最大1000 mまで延長できます。

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600と接続する場合は、RS-232C/RS-422変換器を使用して、回転台のRS-232Cコントロール接続端子に接続してください。

・EXTERNAL CONTROL OUT設定（P.30参照）でEXT CONTROL OUTをONに設定した場合は、公衆回線接続BOX AW-DU600の接続端子として機能します。

AW-DU600のPAN/TILT CONTROL IN端子に10BASE-T（UTPカテゴリー 5相当）のストレートケーブルで接続してください。最大1000 mまで延長できます。

詳細は公衆回線接続BOX AW-DU600の取扱説明書を参照してください。記述内容については、下記の通りに読み替えてください。

・AW-RP605 →AW-RP555

・EXTERNAL CONTROL OUT端子

→TO PAN/TILT HEAD 1/EXT端子

・AW-DU600とのシステムにおいて、本機にはソフトウェアバージョンの制約はありません。

# 各部の名称と働き

---

## ④② TO PAN/TILT HEAD 2 ～ 5端子

- ・ EXTERNAL CONTROL OUT設定 (P.30参照)で、EXT CONTROL OUTをOFFに設定した場合は、回転台の接続端子2 ～ 5として機能します。

回転台のIP/RP端子に10BASE-T (UTPカテゴリー 5相当) のストレートケーブルで接続してください。

最大1000 mまで延長できます。

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600と接続する場合は、RS-232C/RS-422変換器を使用して、回転台のRS-232Cコントロール端子に接続してください。

- ・ EXTERNAL CONTROL OUT設定 (P.30参照)でEXT CONTROL OUTをONに設定した場合は、使用できません。

## ④③ MONITOR SELECT端子

ケーブル補償器AW-RC400のMONI SEL IN端子に10BASE-T (UTPカテゴリー 5相当) のストレートケーブルで接続してください。最大50 mまで延長できます。AW-RC400のMONITOR 1、2端子からは、本機で選択した番号の入力端子に接続された回転台システムの映像信号が出力されます。



# 接 続

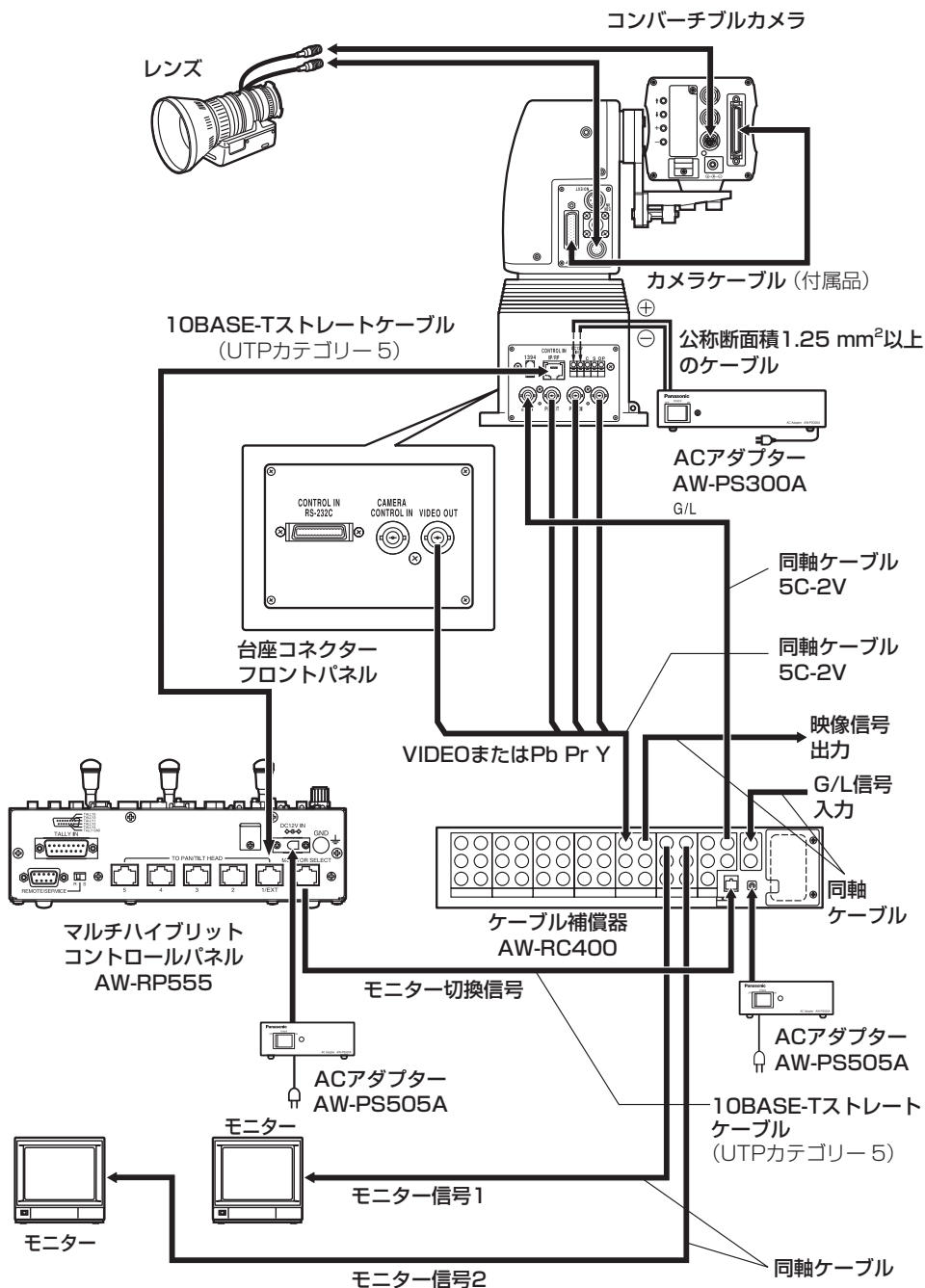
---

接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。

- 本機のACアダプターにはAW-PS505A（別売品）を、回転台のACアダプターには、AW-PS300A（別売品）を使用してください。
- 回転台AW-PH360とACアダプター AW-PS300Aを、DC電源コード（公称断面積 1.25 mm<sup>2</sup>以上の電気用品取締法に適合したケーブル）で接続します。回転台と回転台用ACアダプターの最大延長距離は30 mです。
- 回転台AW-PH360とコンバーチブルカメラを、AW-PH360に付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラに、リモート（ズーム／フォーカスコントロール）ケーブルを回転台に接続します。
- 回転台にAW-PH360を使用する場合、AW-PH360のコントローラー選択スイッチを「AW-RP605Aの場合」に設定してください。

各機器の詳しい接続方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

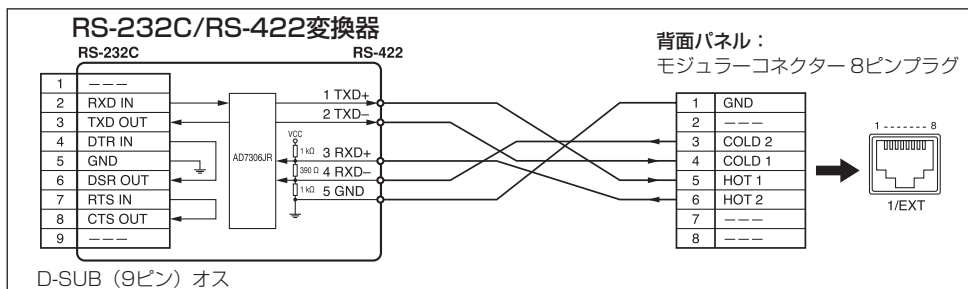
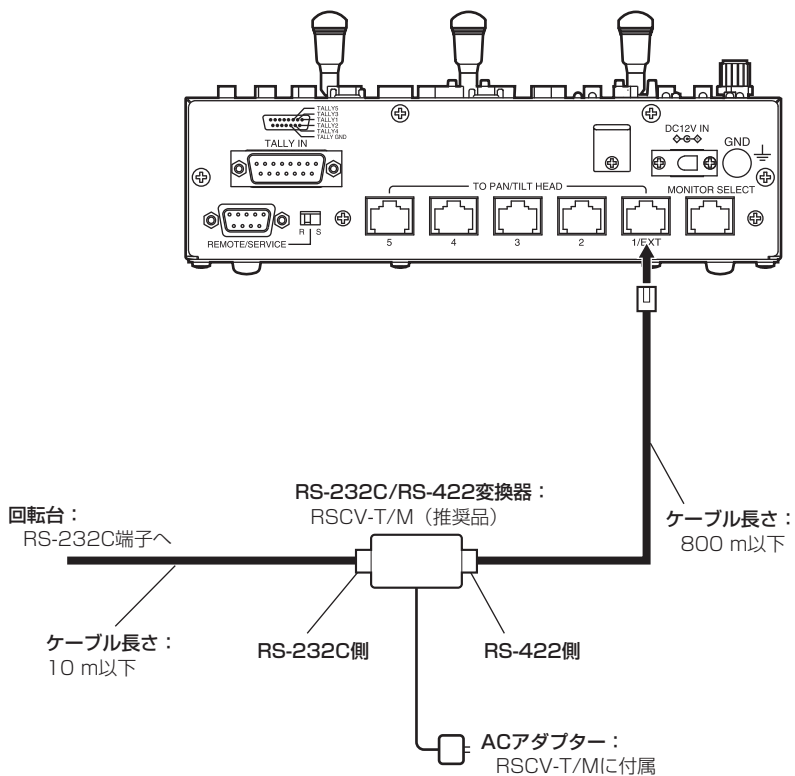
# 接 続



# 接 続

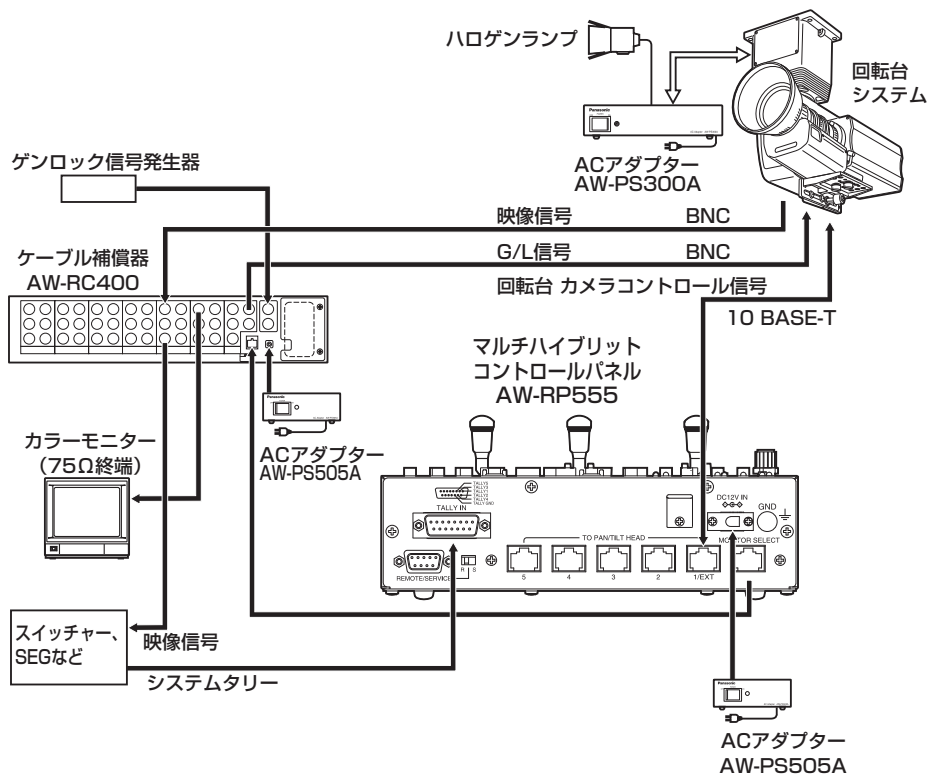
## 回転台としてAW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600を使用する場合

本機からのコントロール信号をRS-422からRS-232Cにレベル変換する必要があります。RS-232C/RS-422変換器と接続ケーブルにつきましては、販売店にご相談ください。下記に、推奨品RSCV-T/M（データリンク株式会社製）を使用した場合の接続例を示します。



# 接 続

## システム構成例



# 操作手順

---

## ■電源の投入

1. 接続している機器全ての電源スイッチと、ACアダプターの電源スイッチをONにします。
2. 本機のOPERATEスイッチをONにします。  
本機に接続されている回転台システムの電源が入り、カメラの初期設定を順次行います。

- カメラの初期設定には、1台につき約5秒必要です。  
カメラの初期設定が終わるまでは、回転台システムの制御ができません。
- 本機のOPERATEスイッチをONにする前に、必ず接続している機器全ての電源スイッチと、ACアダプターの電源スイッチをONにしてください。

回転台システムを接続し（または交換したとき）、初めて電源を投入したとき、接続されている各カメラの「INITIALIZE」が終了後、次の各項目の調整・設定を行います。各項目の調整・設定終了後、「回転台の可動範囲（リミッター）の設定」に進んでください。一度調整すれば回転台またはカメラ、レンズを交換しない限り行う必要はありません。（再度、設定・調整する項目は交換する機材によって変わります。）

# 操作手順

---

## ■EXTERNAL CONTROL OUT設定

本機のTO PAN/TILT HEAD 1/EXT端子に公衆回線接続BOX AW-DU600を接続する場合に、ONに設定します。通常はOFFの設定で使用してください。

1. MEMORYボタンを押しながらLAMPボタンを押します。
2. LAMPボタンが点滅し、待機状態になります。
3. LAMPボタンを押して、設定モードに入ります。MEMORYボタンとLAMPボタンが点滅し、現在設定されている状態が下記の通り表示されます。

PRESET 5 ボタンが点灯：

EXTERNARL CONTROL OUT ON

PRESET 10 ボタンが点灯：

EXTERNARL CONTROL OUT OFF

4. EXTERNARL CONTROL OUT ON に設定する場合は、PRESET 5 ボタンを押します。  
EXTERNARL CONTROL OUT OFFに設定する場合は、PRESET 10 ボタンを押します。

MEMORYボタンとLAMPボタンの点滅が終了し、設定モードからぬけます。

# 操作手順

---

## ■PAN/TILT最低起動速度の調整

回転台をジョイスティックでマニュアル操作するとき、PAN/TILTレバーの傾きに合わせ、回転台がスムーズに動き始めるように、回転台の最低起動速度の自動調整を行います。(PAN/TILTレバーのあそびを軽減します。)

1. CONTROLボタンで調整をしたい回転台を選択します。
2. MEMORYボタンを押しながらMODEボタンを押します。
3. MODEボタンが点滅し、待機状態になります。
4. MODEボタンを押して、調整をスタートします。
5. 調整中はMEMORYボタンとMODEボタンの両方が点滅します。
6. MEMORYボタンとMODEボタンの両方が消灯すれば終了です。
7. 他の回転台に対して2～6を実施します。

MEMORYボタンとMODEボタンの両方が点灯して終了した場合は、回転台へセッティングされているカメラのバランスや、回転台ケーブルなどが周囲のものに接触していないかをご確認のうえ、再度2から実施してください。

調整中にジョイスティック操作を行うと強制終了し、終了した設定分のみ記憶されます。

# 操作手順

---

## ■バックラッシュ補正の調整

回転台を動かしたとき、ギアのおそびによりバックラッシュが発生する場合があります。これはバックラッシュを軽減するために補正を加える調整です。

(バックラッシュとは、回転台を右→左へ動かして停止させ、逆方向に動かし始めるとき、ギアのおそびにより起動が遅れる現象を言います。これは左→右、上→下、下→上でも同様です。)

1. CONTROLボタンで調整をしたい回転台を選択します。
2. MEMORYボタンを押しながらMENUボタンを押します。
3. MENUボタンが点滅し、待機状態になります。
4. MENUボタンを押して、設定モードに入ります。MEMORYボタンとMENUボタンが点滅します。このとき、ジョイスティック操作を行うと強制終了します。
5. PRESET 1～8ボタンを押して補正量を設定します。  
補正量は1で最も少なく、8で最も多くなります。PRESET 10ボタンを押すと補正はOFFになります。PRESET 1～8、10ボタンを押すとMEMORYボタンとMENUボタンの点滅が終了し、設定モードからぬけます。  
バックラッシュ補正値はPAN/TILTとも同じ値が適用されます。  
※バックラッシュが気にならない場合は、OFFでご使用ください。また、調整する場合は必ず回転台を動かして補正量が適正かどうかを実動作でご確認の上、補正量を決定してください。補正量が多すぎる場合、回転台を停止させたときに逆方向に戻る動作をします。
6. 補正量が適正でなかった場合、再度2～5を繰り返して最適な設定値を探します。
7. 他の回転台に対して2～6を実施します。



# 操作手順

---

## ■レンズのズーム最低起動速度の調整

ZOOMレバーでレンズのズーム操作をするとき、ZOOMレバーの傾きに合わせてレンズのズームがスムーズに動き出すように調整します。

1. CONTROLボタンで調整をしたい回転台を選択します。
2. MEMORYボタンを押しながらIRISボタンを押します。
3. IRISボタンが点滅し、待機状態になります。
4. IRISボタンを押して、設定モードに入ります。MEMORYボタンとIRISボタンが点滅します。このとき、ジョイスティック操作を行うと強制終了します。
5. PRESET 1～8ボタンを押して補正量を設定します。  
補正量は1で最も少なく、8で最も多くなります。PRESET 10ボタンを押すと補正はOFFになります。PRESET 1～8、10ボタンを押すとIRISボタンの点滅が終了し、設定モードからぬけます。
6. ZOOMレバーをゆっくり動かし、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。  
レンズのズームの動き始めがスムーズでない場合、再度2～5を繰り返して最適な設定値を探します。
7. 他の回転台に対して2～6を実施します。

# 操作手順

## ■回転台の可動範囲（リミッター）の設定

回転台システムの設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、回転台システムが接触する場合があります。

回転台システムが障害物に接触していると、故障や事故の原因になります。

使用する前には、必ず、回転台システムの可動範囲（リミッター：回転の上限、下限、左端、右端）の設定を行ってください。

回転台を据え置きタイプで設置する場合、あらかじめ回転台内部の設置方向スイッチを据え置き設置に切り換えてください。（出荷時の設定は、吊り下げ設置に設定されています。）

この切り換えが行われないと、回転台の動作方向が逆転し、回転台の可動範囲の制限（リミッター）が正常にメモリーできません。切り換え方法等の詳細は、回転台の取扱説明書を参照してください。

- CONTROLボタンで回転台システムを選択します。
- 可動範囲の上限位置を設定します。
  - ① コントロールパネルのPAN/TILTレバーを操作し、上限位置としたい位置までカメラを回転します。
  - ② コントロールパネルのMEMORYボタンを押したまま、PRESETボタンの2、3を押します。
  - ③ ボタン5が点灯すると設定完了です。
    - 設定を解除するときは、再びMEMORYボタンを押しながら、ボタン2、3を押します。設定が解除されるとボタン10が点灯します。
- 可動範囲の下限位置を設定します。
  - ① PAN/TILTレバーを操作し、下限位置としたい位置までカメラを回転します。
  - ② MEMORYボタンを押したまま、ボタン7、8を押します。
  - ③ ボタン5が点灯すると設定完了です。
    - 設定を解除するときは、再びMEMORYボタンを押しながら、ボタン7、8を押します。設定が解除されるとボタン10が点灯します。
- 可動範囲の左端位置を設定します。
  - ① PAN/TILTレバーを操作し、左端位置としたい位置までカメラを回転します。
  - ② MEMORYボタンを押したまま、ボタン1、6を押します。
  - ③ ボタン5が点灯すると設定完了です。
    - 設定を解除するときは、再びMEMORYボタンを押しながら、ボタン1、6を押します。設定が解除されるとボタン10が点灯します。

# 操作手順

## 5. 可動範囲の右端位置を設定します。

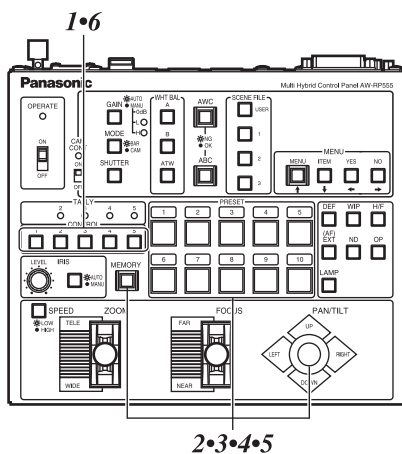
① PAN/TILTレバーを操作し、右端位置としたい位置までカメラを回転します。

② MEMORYボタンを押したまま、ボタン4、9を押します。

③ ボタン5が点灯すると設定完了です。

- 設定を解除するときは、再びMEMORYボタンを押しながら、ボタン4、9を押します。設定が解除されるとボタン10が点灯します。

## 6. CONTROLボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台の可動範囲（リミッター）を設定します。



# 操作手順

---

## ■ゲンロック調整

カメラを外部信号に同期させて使用する場合、他の機器やカメラのゲンロック調整を行う必要があります。

外部同期信号には、ブラックバースト信号やVBS (Video Burst and Sync Signal) を使用します。

カメラを外部信号に同期させない場合、ゲンロック調整は必要ありません。

ゲンロック調整については、カメラメニューを開いて設定します。カメラやケーブル補償器の取扱説明書をご確認ください。

## ■トータルペDESTALの調整

複数台のカメラを使用する場合、各カメラが撮影する映像の黒レベル（ペDESTALレベル）を合わせる必要があります。

黒レベル(ペDESTALレベル)の設定は、カメラメニューで行います。詳しくはカメラの取扱説明書をご確認ください。

# 操作手順

---

## ■ホワイトバランスの調整

初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、照明条件や明るさが変わったときにホワイトバランスの調整が必要です。

AchとBchの2か所に、ホワイトバランスの条件をあらかじめ登録しておくことができます。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、一度調整しておくことでWHITE BALのAボタンやBボタンを押すだけで設定されますので、改めて調整する必要はありません。

新たに調整すると以前の登録内容は消去され、新しく設定された条件になります。

### ホワイトバランスの自動調整

1. CONTROLボタンで回転台システムを選択します。
2. 現在選択されている回転台システムで、白い被写体（白壁や白いハンカチなど）を画面一杯に映します。

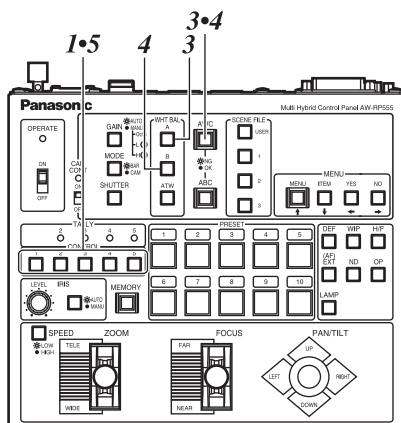
画面に光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

3. WHITE BALのAボタンを押してAWCボタンを押します。  
AWCボタンが点滅し、ホワイトバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、Achに設定条件を登録します。  
調整ができなかった場合は、AWCボタンが点灯し続けます。明るさ、絞り、被写体、光源等を変えて調整し直してください。

AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

4. 同様にWHITE BALのBボタンで、Bchの設定条件を登録します。
5. CONTROLボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでホワイトバランスの調整を行います。

# 操作手順



## 自動色温度追尾 (ATW)

撮影時にWHITE BALのATWボタンを押すと、ATWボタンが点灯し、光源や、色温度が変わってもホワイトバランスを合わせるように自動補正して、違和感の少ない映像になります。

画面上に白がない場合、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。  
また、光源や色温度により、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。

# 操作手順

---

## ■ブラックバランスの調整

初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、周囲温度が大幅に変わったときや季節の変わり目などにブラックバランスの調整が必要です。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、改めて調整する必要はありません。

新たに調整すると以前のメモリー内容は消去され、新しく設定された条件になります。

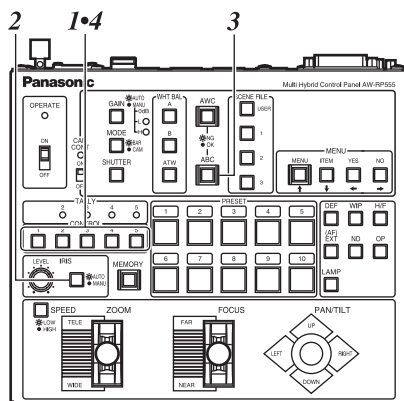
### ブラックバランスの自動調整

1. CONTROLボタンで回転台システムを選択します。
2. IRISボタンを押し、現在選択されている回転台システムをAUTOモード (IRISボタンが点灯) にします。
3. ABCボタンを押します。  
ABCボタンが点滅し、レンズアイリスを自動的に絞り込んでブラックバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、設定条件をメモリーします。  
調整ができなかった場合は、ABCボタンが点灯し続けます。再度、調整してください。

- トータルペDESTALが低すぎるときは、調整できないことがあります。トータルペDESTALを調整し直して、再度ブラックバランスの調整を行ってください。
- AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

# 操作手順

4. CONTROLボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでブックバランスの調整を行います。





# 操作手順

---

## ■プリセットメモリーの設定

本機には、回転台システムが撮影する位置と設定を登録する、プリセットメモリー機能があります。

プリセットメモリーは、PRESETボタンの1～10に登録します。

回転台システムの設定内容は次の通りです。

### 回転台：

パン／チルト位置

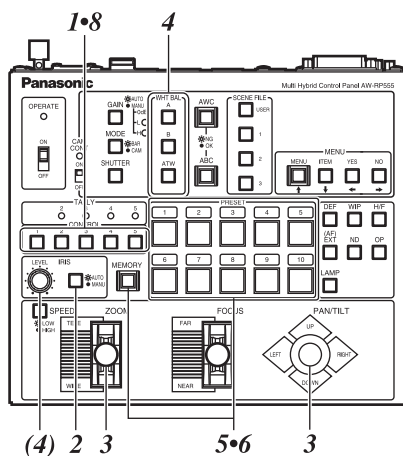
### カメラ：

ズーム、フォーカス、絞り(MANUモードのみ)、  
ホワイトバランス

### プリセットメモリーの登録

1. CONTROLボタンで回転台システムを選択します。
2. 下記のボタンでモードを設定します。
  - IRISボタンを押し、MANUモード (IRISボタンが消灯) にします。  
AUTOモードの場合、レンズアイリスのポジションが登録されません。
3. ZOOMレバーとPAN/TILTレバーを操作して、撮影する映像をモニターで確認します。
4. ホワイトバランスをA/B/ATWの各ボタンから選択し、レンズアイリスをIRIS LEVELつまみで調整します。
5. MEMORYボタンを押したままの状態にします。  
MEMORYボタンを押したときに、PRESETボタン1～10の中で、登録できるボタンが順次点滅を開始します。
6. MEMORYボタンを押したままの状態、プリセットメモリーに登録するボタンを押します。
7. 必要に応じて、他の撮影位置と設定をプリセットメモリーとして、PRESETボタン1～10に登録します。
8. CONTROLボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでプリセットメモリーを設定します。

# 操作手順



## プリセットメモリーの消去

1. CONTROLボタンで設定を消去したい回転台を選択します。
2. MEMORYボタンを押しながらOPボタンを押します。
3. OPボタンが点滅し、待機状態になります。
4. OPボタンを押して、設定モードに入ります。  
PRESETボタン1～10が順次点滅します。  
このとき、ジョイスティック操作を行うと強制終了します。
5. 消去したいPRESETのボタンを押します。
6. 必要に応じて、他のプリセットメモリーを消去します。

# カメラメニュー項目の設定・変更

---

## ■設定のしかた

1. MENU/↑ ボタンを2秒押し続けます。  
メニューモードとなり、現在選択されている回転台システムのカメラのオンスクリーンメニューが表示されます。このときMENU/↑ボタンは点灯したままになります。MENU/↑ボタンが点灯しているときに、MENU/↑ボタンを約2秒以上押し続けると、メニューモードが終了し、オンスクリーンメニューを閉じることができます。
2. 本機がメニューモードのとき、MENU/↑ボタン、ITEM/↓ボタン、YES/←ボタン、NO/→ボタンは、コンバーチブルカメラの背面にある4つのスイッチと下記の通りに対応しますので、これらのボタンを使って、メニュー操作をします。

MENU/↑ .....MENU

ITEM/↓ .....ITEM/AWC

YES/← .....YES/ABC

NO/→ .....NO/BAR

メニューの操作については、カメラの取扱説明書をご参照ください。

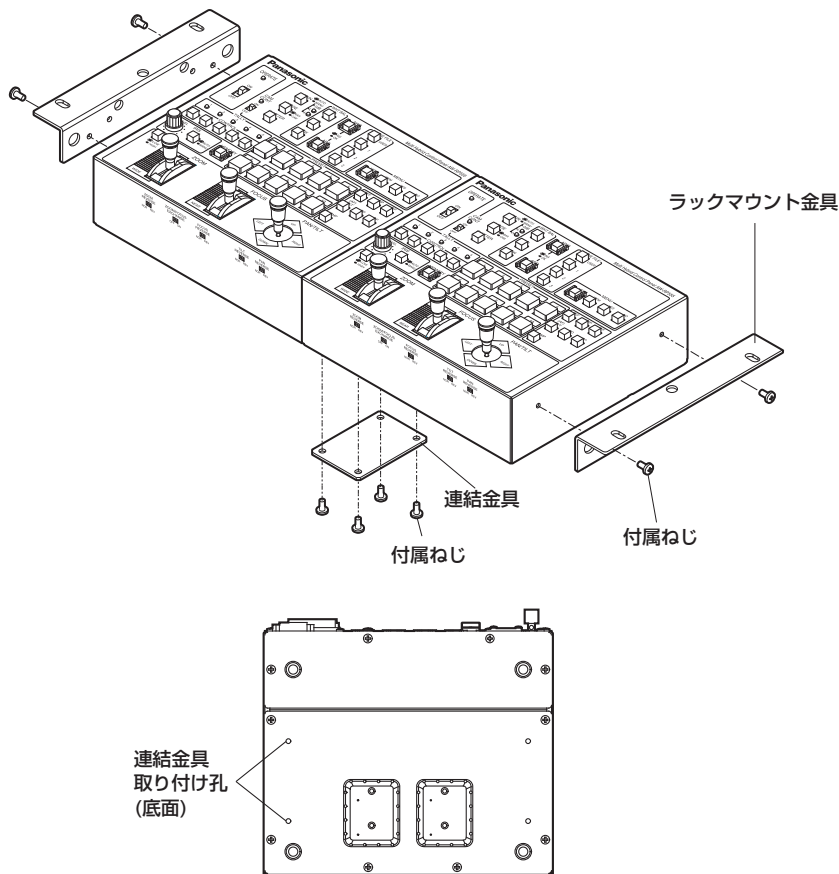
3. 設定が終わったら、MENU/↑ボタンを2秒押し続け、メニューモードを終了してください。オンスクリーンメニューが消え、MENU/↑ボタンが消灯します。

オンスクリーンメニューはメニュー上での操作で閉じないでください。

誤って閉じてしまった場合は、MENU/↑ボタンを2秒以上押し続けて、MENU/↑ボタンを消灯させてください。

# ラックマウント金具の取り付け

- 本体をラックへ取り付けるときは、付属のラックマウント金具、連結金具と取付ねじ（M4×8）を使用してください。
- 付属のねじ以外は使用しないでください。



## 消耗品の交換

### ● ジョイスティックの交換

ジョイスティックは、消耗品です。

動作に支障がある場合は、交換してください。

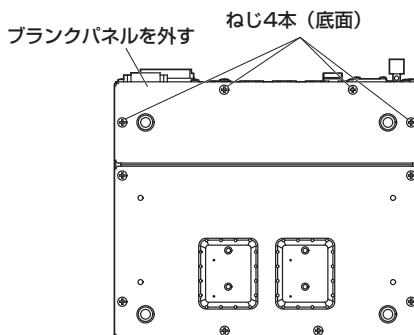
交換は、販売店に依頼してください。

# コネクターパネルの位置の変えかた

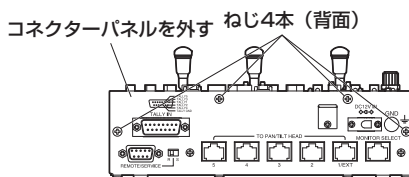
コネクターパネルの位置を背面から底面に変えることができます。

※電源を切った状態で行ってください。

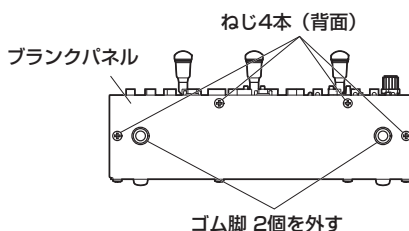
- ① 底面のねじ4本を外して、ブラックパネルを外します。



- ② 背面のねじ4本を外して、コネクターパネルを外します。

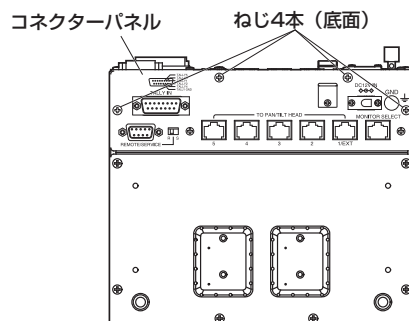


- ③ 背面にブラックパネルをねじで固定します。



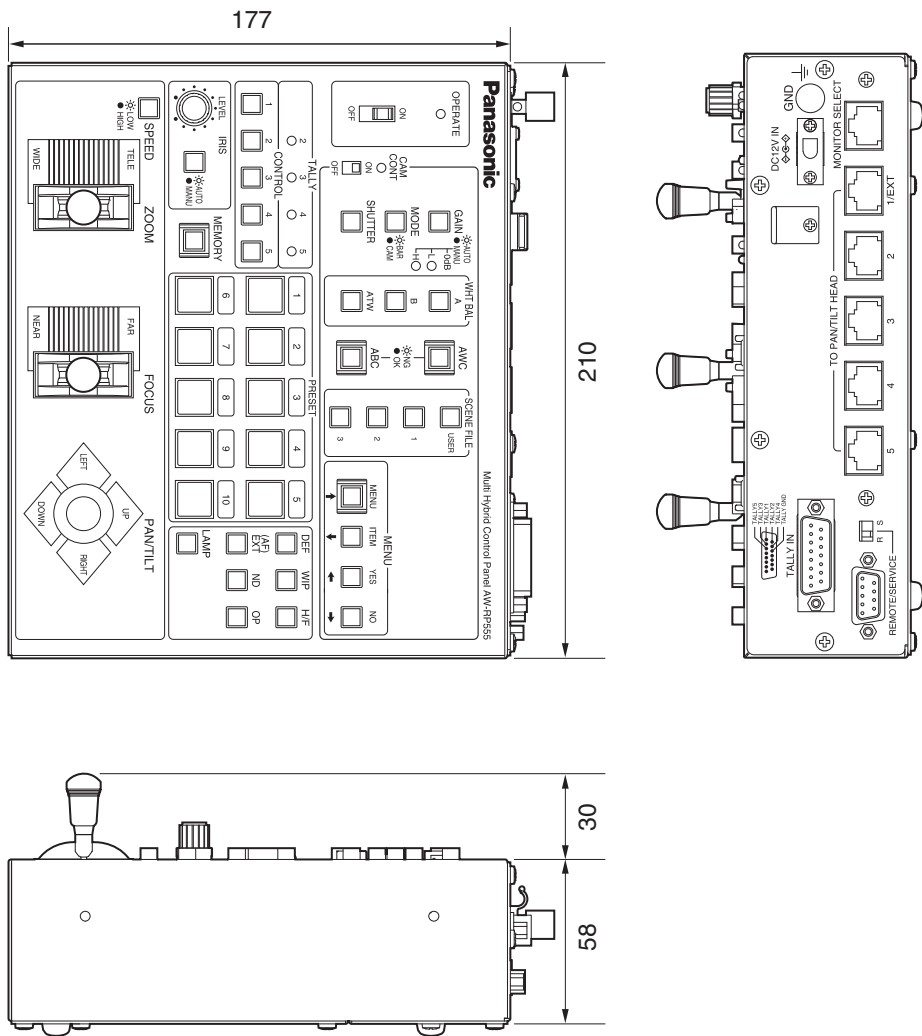
- ④ ブラックパネルのゴム脚2個を外します。

- ⑤ コネクターパネルを底面にねじで固定します。



# 外形寸法图

单位：mm



# 定 格

---

電源電圧：	DC10.8 V ~ DC16 V
消費電力：	9.0 W

 は安全項目です。

## ■総合

### 動作周囲温度

− 10 °C ~ + 50 °C

### 保存温度：

− 20 °C ~ + 60 °C

### 動作周囲湿度

30 ~ 90 % (結露無し)

### 重量

1.4 kg

### 外形寸法 (幅×高さ×奥行)

210×177×58 mm (突起部除く)

### 仕上げ

AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y 6.8/0.8近似色)

### 対応回転台

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、AW-PH360、AW-PH500、  
AW-PH600、AW-PH650

### 対応カメラ

AW-E300、AW-E300A、AW-E600、AW-E800A、AW-E350、AW-E650、  
AW-E655、AW-E750、AW-E860、AK-HC1500G

## ■入力端子

### DC 12 V IN

DCジャック

### GND

接地してご使用ください。

# 定 格

---

## ■出力端子

### MONITOR SELECT

RJ45

接続ケーブル：

10BASE-Tストレートケーブル（UTPカテゴリー5）、最大50 m

## ■入出力端子

### TALLY

D-SUB 15-pin

### REMOTE/SERVICE

RS-232C

### TO PAN/TILT HEAD [1/EXT、2～5]

RJ45×5、回転台用制御信号出力接続ケーブル：

10BASE-Tストレートケーブル（UTPカテゴリー5）、最大1000 m

## ■その他

### REMOTE/SERVICEスイッチ

メンテナンス用スイッチ、「R」位置に固定でご使用ください。

### ZOOM REVERSEスイッチ

ZOOMレバーの極性反転

### ZOOM/FOCUS EXCHANGEスイッチ

ZOOMレバーとFOCUSレバーの入れ替え

### FOCUS REVERSEスイッチ

FOCUSレバーの極性反転

### TILT REVERSEスイッチ

TILTレバーの極性反転

### PAN REVERSEスイッチ

PANレバーの極性反転



# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このマルチハイブリットコントロールパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	マルチハイブリットコントロールパネル
品番	AW-RP555N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。  
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2011